

アキュラシーへようこそ

初めて大会に参加する方達のために簡単に注意点をまとめてみました。

先輩達に聞けば何でも優しく教えてはくれますが、先に知っておきたかったってこともあるかも知れないので作成しています。

ぜひ先輩たちと積極的に話ししてアキュラシー仲間になってください。

また、これだけに頼らず、必ずパラグライディングアキュラシージャパンリーグ規定を読んでね。

<https://jhf.hangpara.or.jp/pgc/files/rules/2022/>

Paragliding_Accuracy_Japan_League_Rules.pdf

URLは年によって変わります。JHF競技委員会>リーグ>アキュラシー ジャパンリーグ>ルールブックで探してください。



2022年7月

製作・・・山口かよぴん (special thanks 全国のフライヤー仲間)

● エントリー

<https://jhf.hangpara.or.jp/pgc/index.php?lang=ja>

⚠ エントリーだけして入金忘れてたりしないように注意 ⚠

● 当日

◆ 持ち物 ◆

機体、ハーネス、ヘルメット、無線は当然ですが、
大会によってはエントリーシート、体温計測表、フライヤー登録証、ライセンス等必要なものがあります。

◆ 開会式・ブリーフィング(競技前の説明・打ち合わせ) ◆

大会により、場所がランディングだったりテイクオフだったりします。勝手にテイクオフに上がらないように。

主催者から当日の注意事項、競技終了時刻等が話されますので良く聞いてね。

セイフティーコミッティ(安全についての相談係)もここで決めます。

◆ 得点 ◆

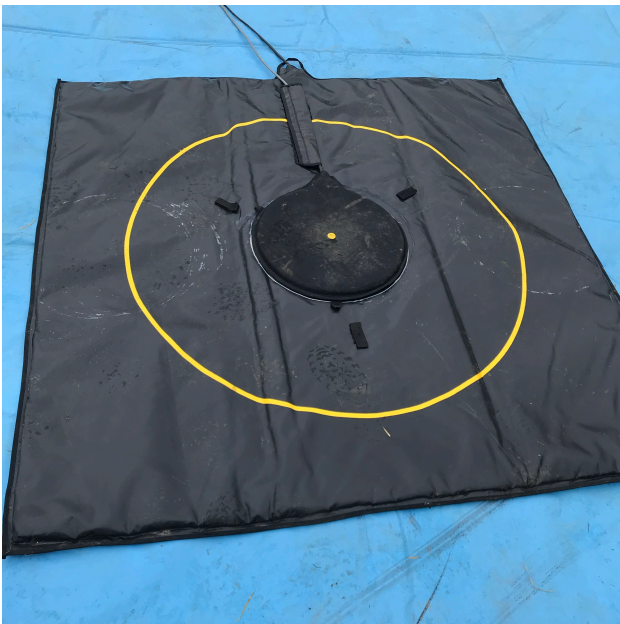
アキュラシーで目指すものはターゲットの黄色い点。

その点を踏めば0点。そこから1cm遠ざかるごとに1点加算され、合計点が少ない選手が優勝です。

黄色い点がある黒いパットは半径16cm。パットを踏めば電光掲示板に得点が表示され、それより外だと審判がメジャーで測ってくれます。

国内大会の場合、計測範囲は10mまでで最大1000点となります。

選手が一巡するまでを1ラウンド(1R)とします。



◆テイクオフ◆

前の人との間隔をテイクオフディレクターが指示してくれます。
3回失敗すると1000点が付きそのラウンドは飛べなくなることがあります。

◆フライト◆

- ・前の選手との高度に余裕がある場合、早めに翼端折りをして競技のスムーズな進行に協力しましょう。でも、ずっと折り続けて前の選手に追いつかないように注意。
- ・翼端折りをしていないのに前の選手がなかなか下がらず追いついてしまう場合、進路妨害をしなければ順番を抜いても構いません。

◆リフライト◆

下記のような場合は、リフライトが認められる場合があります。

- ・テイクオフ後に翼端折りやターンなどの降下手段を全く使わず、真っ直ぐ向かっているのに風やシンクが強くて届かない
- ・風が荒れてて狙うと危険
- ・他の選手やフリーフライヤーに進路妨害をされた

など。詳細はリーグ規定を確認。

ターゲットを狙ったと思われないコース取りをした上で足を振るなど分かりやすい合図をして離れた所に降りましょう。リフライトが認められるかは審判の判断です。

リフライトが認められるべきと思う場合は審判に申し出ましょう。



◆ランディング◆

パット内は電光掲示板に数値が表示されます。パット外はどちらの足のどの部分が最初に地面に着いたか見て審判が計測してくれます。



しかし、機体が地面に落ちる前か10mの円の外に出る前に転倒したりして足以外の箇所やハーネスが地面に触れてしまったら1000点が付いてしまうので注意が必要です。

早く円の外に出るか機体を下ろすようにしましょう。

※フットバーやポットハーネスのポットの部分は地面に付いても無視されますのでご安心を。

計測員が読み上げた点数を記録係が記録用紙に書き留めてくれます。その点数が正しければ横にサインをします。サインをする前にこの点数で良いと思うかと他の選手等に相談したり、他のおしゃべりもすることはできません。

明らかに数値がおかしい、6m/s以上の風が吹いていた等、納得できない場合は無言にサインせず審判に相談しましょう。

全員が飛んでサインしたところで1ラウンド終了。1ラウンドが終われば国内のリーグ戦は成立です。

◆緊急時◆

強風等コンディションがおかしい時や、ターゲット付近に怪我人がいるなど競技中断となった場合は無線で伝えられ、ターゲット付近で赤旗が振られたりパットをシートで覆ったりします。

このような場合はターゲットは狙わず、安全な場所にランディングするようにしてください。

もちろん、無線の周波数も合わせておきましょう。



◆競技終盤◆

第5ラウンドまで終了したら自分の一番悪いラウンドの点数を消すことができます。

通常国内のリーグ戦は第6ラウンドまで行われます。そして最終ラウンド(時間の関係で第6ラウンドより前に最終ラウンドとなることあり)は成績が下位の選手から飛びます。つまり最後はトップ選手のフライトとなるので見応えたっぷりです。

時間の関係でこの並べ替えがなされないままでも終わることもあります。

◆リザルト◆

成績表のことをリザルトと言い、各ラウンドが終わるごとに掲示板に貼られます。

一日の競技終了後に貼られる最終リザルトは転記や計算のミスがないかを必ず確認し、誤りがあった場合は、競技委員長から言われた時刻までに訂正を申し出ましょう。

◆表彰式◆

お疲れ様でした。

表彰はいくつか種類があります。

スクラッチクラス・・・男女問わず、計測された点数での順位

女子クラス・・・女子のみ

ハンディキャップクラス・・・ハンディキャップ係数(初心者は11)を使って計算された結果の順位

団体・・・エントリー時に登録したチームでの順位。各ラウンドのチーム内上位2人分のハンディキャップでの点数を使って計算

学生クラス・・・学生選手のみ

貴方にも表彰台に乗るチャンスがあるかも？

● その他

◆ポイント◆

成立したラウンド数、参加選手数、参加選手のクオリティに応じて大会におけるポイントが参加選手に付き、良かった最大3大会分の合計ポイントで年間の順位が決まります。この順位等によって世界選手権等の日本代表も決まります。頑張ればあなたも日本代表に！

◆日本選手権◆

詳しくは、「パラグライディングアキュラシー日本選手権規定」を確認してください。年に一度開催され日本一が決められます。年間表彰とはまた違った重みがあります。今のところ、エントリー者が多くないので初心者でもエントリー可能。

日本選手権は最低3ラウンドで成立となります。

カテゴリー2という国際規格に則って開かれる場合は、スポーティングライセンスという証明書を申請する必要があります。

◆トーイング◆

ハーネスにワイヤーを取り付けて機械で牽引して飛びます。

自分で切り離すのには初めドキドキしますが、日本で経験できる場所は少ないのでトーイングでの大会があったら是非参加してみてください。大会前に初心者講習会を開いてくれます。

以上、簡単ながらイメージできたでしょうか？

質問があれば、先輩選手に遠慮なく聞いてください。

安全第一で楽しみましょう。

